

第30回全国街路事業コンクール 第2次審査用資料

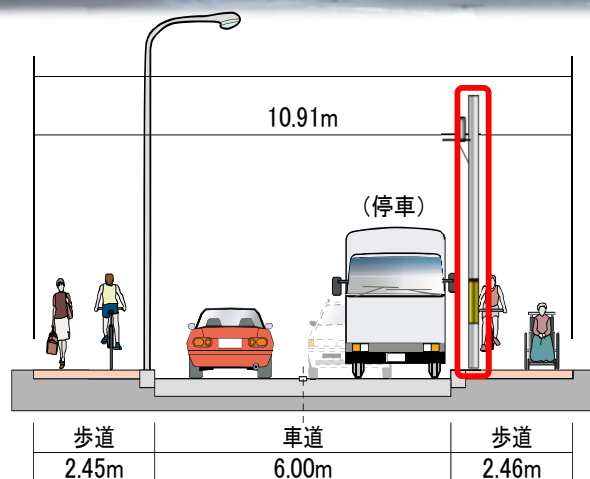
ふりがな 応募者名		さっぽろしけんせつきょくどぼくふ 札幌市建設局土木部	
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ3・3・31みなみ1じょうどおりせいびじぎょう 都市計画道路3・3・31南1条通整備事業	
	ふりがな 事業主体	さっぽろしけんせつきょくどぼくふ 札幌市建設局土木部	
	ふりがな 実施都市名	さっぽろし 札幌市	
	事業概要 (400字以内)		
事業概要 (400字以内)		南1条通は、菊水・旭山公園通を起点とし中央区南2条西28丁目を終点とする、延長 約5,000mが都市計画決定されており、東札幌地区から都心部を経由し円山地区に連絡する重要な幹線道路として、また広域避難場所である円山公園への避難路としての機能を有することから、防災対策上としても重要な路線に位置づけられている。 当路線の未整備区間のうち、お洒落な通り通称「裏参道」と呼び親しまれている西20丁目通～環状通間の延長約880mについて、平成12年度より事業に着手し平成28年度に整備を完了した。 平成20年度までにワークショップや意見交換会などを開催して、沿線町内会や商店振興会などの地域住民との意見交換を行い道路景観に係る整備内容(街路樹の樹種、街路灯のデザイン、インターロッキングブロック舗装のデザイン)等を決定した。 また、西20丁目通との複雑な交差点についても改良し、それに合わせ隣接した公園の拡大再整備を行った。	
事業規模		○事業延長:880m ○事業費:約42億円	○幅員:18.0m ○事業期間:平成12年度～平成28年度
事業の目的		本事業は、道路拡幅整備および電線共同溝整備を行うことで、渋滞緩和や冬期間の車道、歩道のスペース確保および、防災性の向上や都市景観の形成を目的としており、停車帯を設けることで、商店街への荷捌き場と冬期間の堆雪スペースを確保している。	
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		【自然災害による被害の軽減】…無電柱化による防災性の向上 【交通サービス水準の向上】…停車帯整備による商店街への荷捌き場と冬期間の堆雪スペースの確保 【生活利便性の向上】…バリアフリー化による良好な歩行環境の確保 【需要の増加】…歩行者類数の増加、店舗出店やマンションの建替えによる地域の活性化	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	整備にあたっては、沿線関係者や沿線各町内会および自治会、商店振興会、地元住民等と整備内容についてワークショップや歩道景観形成などについての意見交換会などを行ない、インターロッキングブロックや街路灯のデザインなどについて自然豊かな円山の特徴に合わせたものを採用している。 また、本整備に合わせ、「裏参道」という通称名の街路名板を設置し、地域の方が愛着を高められるよう配慮した。	

完成全景

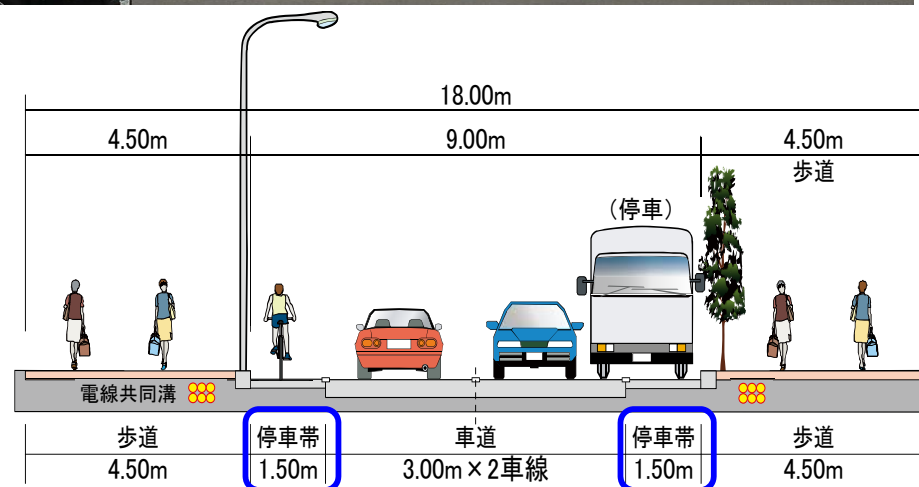


整備効果アピール資料

【整備前】



【整備後】



○停車帯を整備し、円滑な走行環境を確保した。

○無電柱化により、防災と景観の向上を図った。

整備効果アピール資料

街路樹

みどりを感じられる道に

街路灯

やわらかな
雰囲気デザイン

インターロッキング

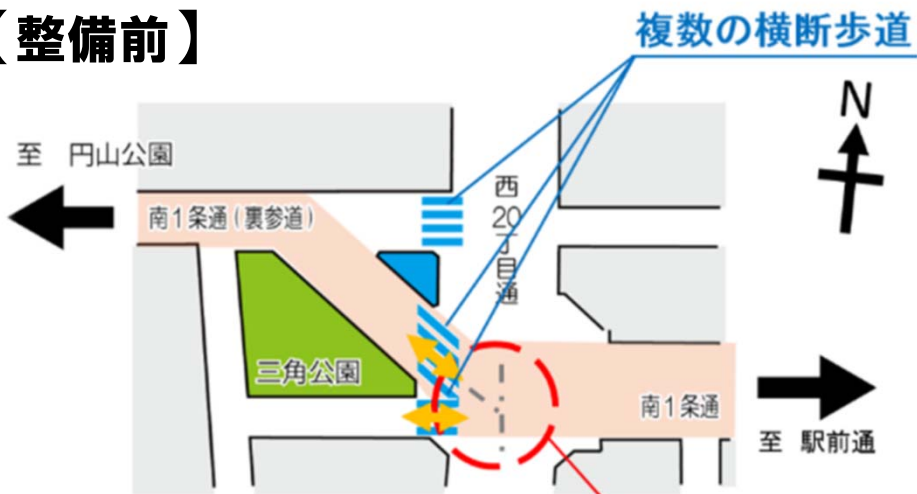
夕日を表現したデザイン

○地域と整備内容に関する意見交換会を開催し、
自然豊かな円山の特徴に合わせたものを採用した。



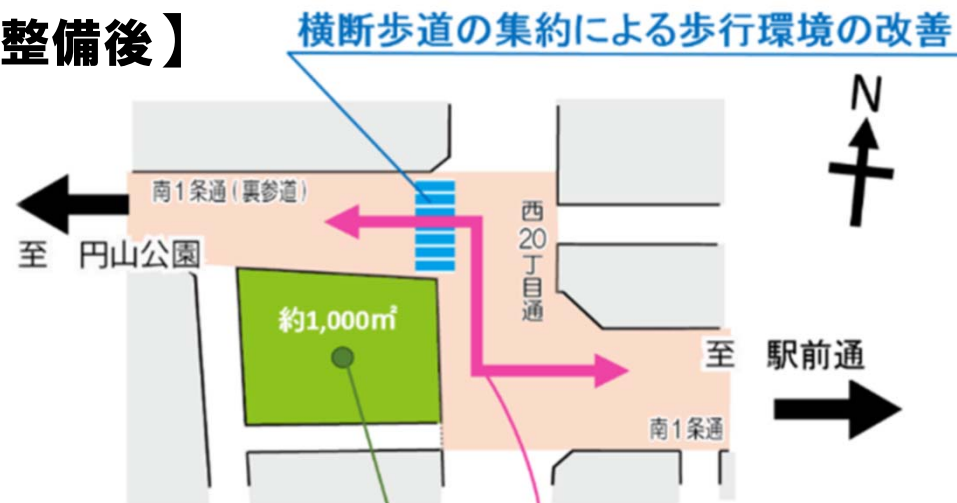
整備効果アピール資料

【整備前】



センターのズレ、きつい交差角度(47°)
2方向からの同時進入

【整備後】



新たな公園として整備

交差点はクランク状になり、
一度の信号で通行できるように。



- 事業区間内に、複雑な交差点があったため、本整備に合わせ改良し、安全性を向上させた。
- 交差点の形状変更と併せて、隣接した公園の拡大再整備を行った。

事業前写真



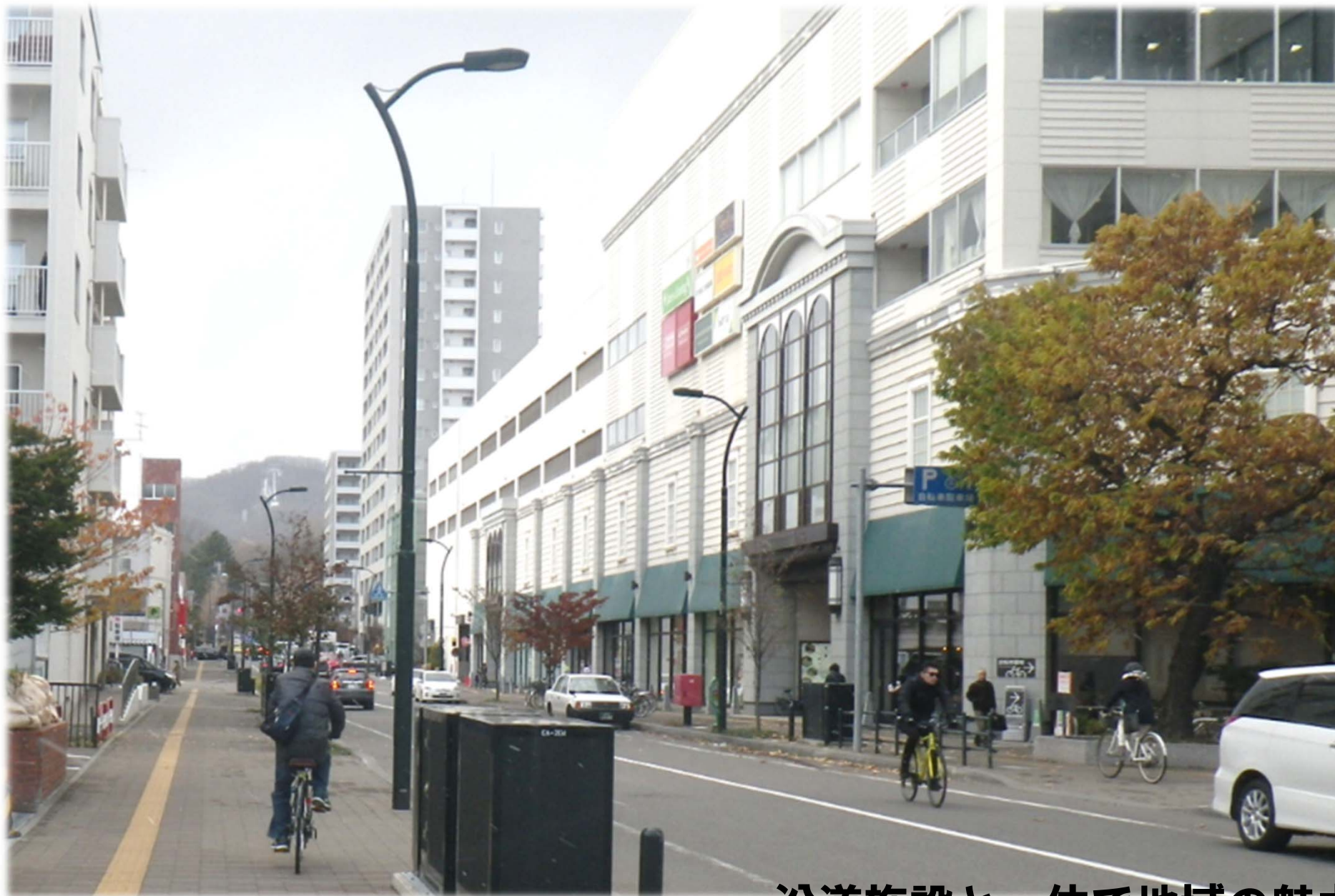


円滑な走行環境

事業後写真



街の活性化に大きく貢献



沿道施設と一体で地域の魅力創出